

## 富野地域振興計画(案)

### I まちの将来像 (キャッチフレーズ)

“ほのぼの いきいき わくわく” 富野

### II 基本方針

- テーマ1 富野の自然や文化を地域みんなで大切にする
- テーマ2 子どもを地域みんなで育む
- テーマ3 高齢者を地域みんなで見守る
- テーマ4 人と人がふれあい支え合えるまちを地域みんなでつくる
- テーマ5 安全・安心で暮らしやすいまちを地域みんなでつくる

### III 基本施策・主な事業

#### ■テーマ1 富野の自然や文化を地域みんなで大切にする

##### 1-1 自然環境及び生活環境の保全

富野には美しい山や川があり、将来にわたって自然が豊かな環境の中で暮らすことを住民は望んでいます。山林や農地の荒廃、獣害被害を食い止め、自然環境豊かな美しい地域をつくります。

- ◆地域の一斉清掃、農地の管理、山林の手入れなど自然や生活環境の保全
- ◆花木の植栽や花壇づくりなど住民の手による景観づくり
- ◆ホテルや鮎などの生態を学び、生息環境を守る
- ◆ペットの飼育マナー、野焼き、空き地の管理など良好な生活環境を実現するためのルールづくり
- ◆獣害対策を富野全体で取り組むための学習会の開催。

##### 1-2 地域資源の活用による地域の活性化

富野には他地域に自慢できるお米や農産物があります。ふだん気が付かない魅力を発掘し、地域内外に情報を発信します。

- ◆富野お米コンテストの開催
- ◆耕作放棄地を活用した、共同菜園づくり
- ◆お米や野菜のPRと販売促進
- ◆広報誌とHPを活用した、地域内外への情報発信

### 1-3 地域の文化財や伝統文化の継承

富野には円空仏に代表される有形文化財や、天然記念物の正武寺のサザンカ、史跡竹腰正武侯本廟など文化資源があります。これらを地域の宝とし保存・伝承します。

- ◆各地域の昔話や言い伝えの調査、次世代への伝承
- ◆歴史講座、文化財・名所見学ツアーの開催
- ◆富野が誇れる名所や地域資源を発掘し、富野自慢マップを作成

## ■テーマ2 子どもを地域みんなで育む

### 2-1 子育て環境の充実

自然豊かな環境で子育てができるメリットを生かし、若者が定住できる子育て環境が充実した地域にします。子育て世帯の負担軽減のため、地域全体で子育てを支援する仕組みをつくりま

- ◆子育て時期の親子が集まれるたまり場づくり、すくすくランドの充実
- ◆子どもの安全を確保するため、ボランティアを募り子どもの登下校を見守る
- ◆富野全体であいさつ運動を推進する
- ◆ふれあいセンターを利用した子どもの放課後の居場所づくり

### 2-2 地域の教育環境の充実

地域ぐるみの教育により、富野地域に誇りと愛着を持つ子どもを育てることが大切です。地域の子供達を健やかに育むよう大人が子どもに地域のことを教えたり、高齢者とふれあう機会をつくりま

- ◆子ども達が参加できるイベントの開催
- ◆高齢者の特技（裁縫、郷土料理、将棋、囲碁、習字、そろばん、わらざうりづくりなど）や生活の知恵を子ども達に伝える講座の開催
- ◆食育活動
- ◆子ども達の「夢」をサポートする「未来講座」の開催
- ◆富野全体で富野中伝統の「目の体操」をし、「日本一視力の良いまち」を目指す

## ■テーマ3 高齢者を地域みんなで見守る

### 3-1 高齢者の見守り

高齢になっても安心して暮らし続けられるように、家族、地域、行政が連携協力し、高齢者の安否確認や見守る仕組みをつくりま

- ◆高齢者世帯の安否確認、傾聴、日常生活の困りごとの手助けをするボランティア組織の育成
- ◆地域の子ども達と高齢者とのふれあい、交流

### 3-2 生きがい活動の推進

楽しく充実した暮らしができるよう、気軽に参加できる人との交流の場を作ります。

- ◆地域の集会場などを活用した、高齢者が気軽に出かけられる居場所づくり
- ◆幅広く高齢者が参加できるように、ふれあい・いきいきサロンの充実
- ◆より多くの人に参加してもらえる敬老会を企画・開催

### 3-3 健康づくりの推進

健康長寿を目指し、軽スポーツの推進や食生活改善による健康増進活動を推進します。

- ◆三世代グラウンドゴルフ、ウォーキングなど高齢者も参加できる機会の創出
- ◆高齢者世帯の健康増進のため、健康食として給食サービスの実施

## ■テーマ4 人と人がふれあい支え合えるまちを地域みんなでつくる

### 4-1 地域の組織づくりの推進

地域が一丸となって住民主体の地域づくりを推進するための組織が必要です。住民の力が最大限に発揮できるよう組織の機能を充実します。

- ◆行政と地域組織の連携
- ◆地域リーダーの育成
- ◆住民の声を拾い上げる住民意見箱の設置
- ◆地域の活動が継続できるような、組織体制の見直し

#### 4-2 地域づくり活動の支援と交流活動の推進

住民主体の地域づくり活動を持続するためには、地域のことを知り誰もが自由に意見が言える対話の場が必要です。富野は対話によるまちづくりを推進し、住民同士の交流活動で繋がりをつくります。

- ◆地域住民が語り合える場の開設
- ◆地域住民が参加できる行事・イベントの開催
- ◆転入者との交流会の開催
- ◆富野地域の情報を外部へPRするための案内看板の設置

### ■テーマ5 安全・安心で暮らしやすいまちを地域みんなでつくる

#### 5-1 移動手段の確保

高齢者がいきいきと暮らすためには、買い物や通院など自由に外出でき、人との交流が大切です。高齢者等交通弱者の移動を支援する仕組みをつくります。

- ◆生活支援と地域住民が交流できるための交通手段の検討
- ◆住民の助け合いによる高齢者等交通弱者の買物、通院などの送迎サービスの仕組みづくり
- ◆福祉有償運送サービスの検討
- ◆NPOや社会福祉協議会との連携

#### 5-2 防犯防災、交通安全対策の充実

安心して暮らし続けるには、安全な地域であることが重要です。安全な地域づくりのため、住民が主体となった防犯防災体制の構築と防犯活動に取り組みます。

- ◆災害時の避難誘導や安否確認など、地域事情に合った具体的な体制づくりと訓練の実施
- ◆消防団活動を活性化させるための応援体制づくり
- ◆富野子ども見守りボランティアや交通安全協会の活動支援